

県連ニュース

2018年 2月号 NO-487



福井県モッカ平近く
「縫ヶ原山」をバックに山スキー

2015.02.28 撮影 滋賀山友会所属 山森 恵子さん提供

滋賀県勤労者山岳連盟

目 次

寄稿	エッセイ	2
案内	速報 第42回定期総会のお知らせ	3
	第39回 近畿ブロック 搬出技術講習会(再掲)	4
報告	第12回 理事会議事録	7
	近畿ブロック自然保護委員会	8
	40周年記念祝賀会 滋賀民報社 掲載記事	10
	雪山基礎講座2 (第1回) 福井県 荒島岳	11
	滋賀民報社掲載原稿 (その11) 転載	15
	ぐうたら理事長のつぶやき	16
予 定 表		17
編集後記		18

「待ち上手になる」

彷徨倶楽部：高田 忠雄

待つことが下手になったのでは～と。わたしも、そして、おそらく皆さんも??……。下手になったのは、何時間も何日も、何年も、という長い待ち方でなく、むしろごく短い待ち方である。電車に乗る際、降りる人がすんでからとか、道ですれちがう相手を先に通すためこちらで待つというような。携帯電話を扱うためには立ち止まるというような。親しい人の小さな困難にちょっと手を貸す方法を思案するというような…。他にいろいろ。

*

いずれも、みずからの待ち時間を誰かのために「ほんのちょっと」使うということになろうか。日本人の品格は、こんなところにさりげなく在ったのではなかったか。さりげなく在って、さりげなく香ったのではないか。今「ほんのちょっと」待つことをしなくなったのではないか。たちまち待ち方を忘れたのではないか。どんなふうに残った方がいいのか。どうやって立ち止まったらいいのか。思い出せなくなってはいないか～。

*

「待つこと知らず」我が物顔で突き走る自転車。歩いてぶつかりそうになっても相手のせいのように一不快顔。道をゆずってもことば会釈すらせず。と憤ったり、携帯電話を使うときぐらい歩みを止めたらいいいのにと、人の振り見て嘆息したりすることがある一方で、待ち方を忘れたみずからを省みて、さもありませんかと思う。

*

新しい年が始まった。今年めあては、待ち上手になること～。
なに、晩酌時間待ち、お酒の熱燗の時間やビールの冷やし具合の時間、晩酌の肴を買うスーパーの半額シールを計算する私やから～。
きっと、いい待ち方を思い出せるにちがいない。

—おわり—

速報

第42回 定期総会のお知らせ

議題：第42回県連定期総会議案

日程：2018年3月11日（日）13：30～18：00
13：00開場（各会理事は12：30集合）

会場：滋賀県立スポーツ会館2階（昨年と同じ会場です）
滋賀県大津市御陵町4-1 TEL:077-522-0301

★JR 大津京駅 徒歩5分 ★京阪電鉄皇子山駅 徒歩2分

★無料駐車場（22台）あり



代議員数は各会員数により下記の通りとなります。

【会員数】	【代議員数】
10名まで	2名
11名～20名	3名
21名～50名	4名
51名～100名	5名
101名以上	6名

★各会におかれましては、代議員選出等ご準備方をお願いいたします。

第 39 回 近畿ブロック搬出技術講習会のご案内

▼尾根搬出、岩搬出、岩のセルフレスキュー

日時 2018 年 4 月 1 日(日)8:00 受付開始 8:30~15:30 雨天決行、警報発令中止

集合 百丈岩やぐら奥の河原(JR 道場駅より徒歩約 30 分)

場所 百丈岩周辺

内容 吊り上げ吊り降ろし、引き上げ引き下ろしシステムのロープレスキュー、
背負い方法等のレスキューシステムを実践で学ぶ。

コース

▶ 尾根コース・岩コース(初級者・経験者コース)

▶ 岩セルフレスキューコース

※受付にて希望コースを申し出てください。(岩セルフレスキューコースは先着 10 人
です)

装備

▶ 尾根コース:ヘルメット*、ハーネス*、自己確保用装備*、安全環付カラビナ*、スリン
グ*、デ이지ーチェーン又はパス、確保器、カラビナ等

▶ 岩コース・岩セルフレスキューコース

ヘルメット*、ハーネス*、自己確保用装備*、確保器*、安全環付カラビナ*、アブミ、
カラビナ*、クイックドロ*、スリング*、ハンマーデ이지ーチェーン又はパス*、等

※1 *は必須。 ※2 上記の他、各コースとも一般装備(行動食、水筒、雨具等)必要。

■ 対象者

▶ 岩登りの経験があり、搬出技術の向上を目指す方。

▶ 「岩セルフレスキューコース」は搬出技術講習会参加経験者で主に岩登りをされる方
のみとします。

▶ 新特別基金、又は、それに準じる山岳保険加入者。

■ 参加費

資料代 300 円/部をいただきます。

★参加を希望される方は事前に所属会を通じて氏名・性別を各府県連盟へ連絡願いま
す。

各府県連盟は 3 月 12 日(月)までに近プロMLに報告をお願いします。

<特記事項>

- 雨天決行です。当日の朝の7時30分時点で警報発令時は中止します。
- 訓練中の事故等に対しては自己責任での安全確保をお願いいたします。
各コースともヘルメットのない方は参加できません。
- 前夜泊は鎌倉峡河原にてテント泊可能です。
- お車でお越しの方へ
 - 当日はたくさんの参加者が予想されます。出来るだけ公共交通機関をご利用下さい。
車の場合は、道場駅前駐車場若しくは鎌倉茶屋管理の奥の駐車場(いずれも有料)をご利用下さい。
 - 百丈岩やぐら前は講習会場として使用しますので駐車できません。
 - 道場駅からやぐら前まで路肩駐車禁止とします。
 - 夜間遅くに来られる方は、近隣住民の方へのご配慮をお願いします。

申し込み・問合せ先

滋賀県勤労者山岳連盟救助隊事務局 友永まで

電話番号 077-524-5618 メール yt19481013@yahoo.co.jp

第39回 近畿ブロック搬出技術講習会のご案内

ハイキングコース

- 日時 2018年4月1日(日)9:30 受付開始 9:50~15:30 雨天決行
- 集合・会場 尼崎市中央地区会館(阪神尼崎駅より西へ5分)
尼崎市西御園町93番地の2 サンシビック尼崎内
TEL:06-6413-8171
- 持ち物 山行時の装備一式
(行動食、水筒、雨具、ストック、三角巾、スリング<120cm・60~100cm>、カラビナ等
昼食)
- 内容 応急手当、搬出技術
- 対象者 ハイキングの山行リーダー及びハイキングでのレスキュー技術の習得を目指す方。

- 資料代 300 円/部 (昨年度使用した『ハイキングのセルフレスキュー』と同内容のものを予定)

<特記事項>

- 講習中の事故等に対しては自己責任でお願いいたします。
- 軽登山靴、または運動靴で参加可能です。
- 参加を希望される方は事前に所属会を通じて氏名・性別を各府県連盟へ連絡をお願いします。各府県連盟は 3 月 12 日(月)までに近プロMLで兵庫県連へ報告をお願いします。
- 車でお越しの方へ
会場には駐車場がありますが他団体含め多数の方が利用されると満車になります。
会場近くのコインパーキングをお探し下さい。



<申し込み・問合せ先>

滋賀県勤労者山岳連盟救助隊事務局 友永まで

電話番号 077-524-5618 メール yt19481013@yahoo.co.jp

2017年度 第12回 理事会 報告

1月10日(水) 19:00 - 20:30

司 会：北村

記 録： 今村

出 席：秋田、北村、友永、奥野、中島、堀部、東郷、高玉、池田、
宮内、乾、川端、今村 (理事会定数 14 名)、

欠 席：長谷川 (連絡あり)

議 題：

1. 総会議案書検討 (協議)

- 2017 年度活動報告議案検討-1
教育部(乾)、自然保護部(中島)、遭難対策部(今村)、機関紙部(奥野)、
組織部(池田)財政部(宮内)、救助隊(秋田)、CSS(北村)、SKI-NET(北村)
- 2018 年度活動計画について→次回理事会で検討
- 教育部と遭難対策部の統合について(提案)次年度→留保
事務局の仕事が繁雑なため、事務局員を増員したい
会則に抵触しない範囲で教育部と遭難対策部を統合(教育遭対部)し人員を3名とする
組織部の人員は1名とし余剰人員を事務局員に。
次年度に向け理事の増員を各会に強く要望
- 来季の役員体制と任務分担見直しについて 清掃登山ほか
従来は自然保護部が担当・集約 理事会内で担当部署を明確にする
- 総会までの日程(案)
1/24(水) 第13 回理事会:議案検討-2、決算案検討(次年度の計画案と会計報告)
2/7(水)代表者会/第14 回理事会:議案検討、決算・予算案検討
2/20(火)議案書印刷、製本、発送(機関紙発送と同時)
3/7(水)第15 回理事会:総会準備、(資料集印刷)当日持参のため直前で OK
3/11(日)総会(滋賀県スポーツ会館)

2. 各部報告

組織部： 会員数動向 (前年度末対比214/222 96.3%)

山友	岳友	雪稜	彷徨	ちごゆり	シャクナゲ
80/80	54/54	44/45	15/15	16/17	5/5
合計		2017.12E/2017.11E			
		214/216 99.1%			

教育部：
・特記事項なし

遭難対策部：
・特記事項なし

自然保護部：
・1/12 近畿ブロック自然保護委員会(中島)
・リニア新幹線反対署名 1/10 現在 115 筆

機関紙部：
・県連ニュース 2 月号
原稿締切り 1/15 、印刷・発送 1/22
定期総会の速報、4/1 搬出訓練の案内等

財政部：
・1/24 立替金精算お願いします

救助隊：
・特記事項なし

SKI-NET：
・特記事項なし

CSS：
・1/6 荒島岳・雪山基礎講座 参加 13 名

4. その他

・第39回 近畿ブロック搬出技術講習会

2018 年 4 月 1 日(日)実施 滋賀県連は2班体制 講師 1 名、スタッフ1名×2班

・全国雪崩講習会 2018/2/10～12 千畳敷カール 全国の講師となるための講習
近畿ブロック理論講習 11 月 25 日(土)、実技 I 1 月 20 日(土)～21 日(日)

・全国連盟第 33 回総会 2018/2/17～18 東京 ホテルコンチネンタル→友永出席予定

・リニア新幹線反対署名については、県連として 500 筆を目標とする

■次回 第 13 回理事会 1 月 24 日(水) 19:00 ～

2017 年度 第 4 回近畿ブロック自然保護委員会報告

2018 年 1 月 12 日(金)

自然保護部 中島英雄

司会：大阪(沢村)

1. 各県連報告

和歌山：和歌山市北部のメガソーラー建設について県連としては断固中止を求めていきたい。毎年行っている長距離縦走「紀泉高原を歩こう！」を今年もやります。例年一般参加者が 70 から 80 人います。(大住)

京都：クリーンハイクのまとめを作った。昨年 11 月 11 日の近畿ブロック交流ハイキングの会計報告を預かってきた。(平尾)

奈良：奈良県連の状況を説明（理事会も毎月できていない。県連ニュース一紙ベースも出ていない）自然保護委員会はやっている。続けていく。春日山原始林を未来へつなぐ会で自然観察会を1月は2回予定している。（高橋）

兵庫：11月26日（日）に武庫川廃線敷き公園の武田尾駅で歩く人の数を測った。9時30分～13時00分で2,300人。六甲最高峰に設置の阪神淡路・東日本大震災鎮魂・復興祈願の柱が黒塗りにされているのを6月に確認。昨年12月26日に新聞に掲載された。六甲東お多福山草原保全10周年記念シンの集会在2月17日にある。（中原）

滋賀：滋賀県連総会の自然保護部議案2017年度報告を報告した。11月11日の近畿ブロック交流ハイキングも入れたらと指摘があった。報告では分かり易い様にしたので、議案を修正するつもりです。リニア新幹線の1月10日現在で集まった署名数120筆を報告した。（中島）

大阪：1月の自然保護委員会レジュメより、雷鳥の目撃情報では12月31日千枚岳で真っ白い雷鳥を目撃したこと。「倒木退治」（今後は倒木処置とする）では赤テープを巻いたり、自治体に連絡している。登山者にとっては危険ですが、勝手に切ったりはできない。リニア新幹線の署名は昨年末時点で500筆です。（沢村）

2. 近畿ブロック自然保護交流山ハイキング報告

京都・井ノ口山 伏状台杉 11月11日（土）

沢村さんより井ノ口山と片波川源流域の伏状台杉群の写真を写してくれました。途中トイレ休憩で寄った山村交流施設では宿泊も出来るそうです。奈良の高橋さんによると、ここへ泊まってこの辺りの山へ行くのに大変便利ですとお話がありました。

会計報告を本日は欠席の麻田さんに代わり平尾さんより聞く。残金はわずかで、次回に回すこととなりました。

次年度の近畿ブロック交流ハイキングの予定

沢村さんより提案があり、場所は高野山。実施は11月ごろと内定しました。詳細は和歌山で検討することになりました。

3. 次回の自然保護委員会

4月6日（金）10時から 大阪労山事務所にて

滋賀労山40周年

現役、OBらが集まり「記念祝賀会」



創立40周年を記念する祝賀会(26日、大津市)

♪さあ、次は50周年へ♪

「元気にしてよー」、「またまた歩ける」——会場のおちこちで笑顔がはじけました。創立40周年を迎えた滋賀県勤労者山岳連盟。労

山を育て支えてきた人たちが現役の会員が集まり、記念の祝賀会が26日、大津市内で開かれました。

滋賀労山と言えば、全国に先駆けて「清掃登山」に取り組んだ団体。「ふるさと」の自然を守り育てよう」を合言葉に、ゴミ袋を手に

した山での清掃活動はまたたく間に全国に広がりました。また、各山域での水質定点観測は環境保全の指標となつていきます。

会場には加盟山岳会の山行アルバムや会員の絵画作品、連盟結成総会時の資料なども展示され、参加者が旧交を温めました。また、創立以来の現役会員4氏を表彰。「50周年へ、若い人たちにも広げていこう」と和やかに交流しました。

雪山基礎講座2（第1回）報告

福井嶺北 荒島岳

日時 2018年1月6～7日（日）

天気 晴れ

講師 秋田（彷徨倶楽部）

受講生（岳友会）森原、東郷、大門、達摩、川端、小西、山川
（彷徨倶楽部）乾

（比良雪稜会）川嶋、田中、清水、其阿弥（報告）

行程 1/6 JR 野洲駅南口（17：30）＝竜王 IC＝（名神高速 北陸道）＝福井 IC＝勝原
駅（泊）（21：30）

1/7 勝原駅＝旧勝原スキー場駐車場（8：40）－ 標高750m付近（10：08）雪
上訓練（14：08）－ 旧勝原スキー場駐車場（15：28）＝福井 IC＝（北陸道、
名神高速）＝ 帰滋

正月から強い冬型の気圧配置が続き、天気、積雪量等でさんざん秋田講師を悩ませ、一時は恵那山に変更になったものの、直前に荒島岳の天気が回復し、当初の予定どおりとなった。小雨の中、滋賀を出発。北陸道に入ると雨が雪に変わり、トンネルを抜けるごとに道路脇の雪の量が増えて行った。無人駅の勝原駅は、先客は居ず、我々のパーティーだけだった。明日の講習内容のレクチャー後就寝。駅のトイレが封鎖されており、車でコンビニまで行かねばならず、不便であったが、寒さをしのげてよかった。

翌日は、朝から快晴。朝食後、旧スキー場駐車場に移動し、登山開始。いきなり急登が始まる。日差しもあり、休憩ごとに上着を脱いでいく。後方を振り返ると、経ヶ岳やその後方に真っ白な白山がきれいに眺められた。標高750m付近でトレールを離れて荷物を降ろす。ここで下記の課題を行った。



【課題】

1. ワカン歩行（踏み跡のない新雪の斜面を登ってみる。深雪のラッセル）
2. ロープワーク
 - (1) ハーネスとメインロープの連結
 - (2) 自己確保（クローブヒッチ）
 - (3) 固定ロープ通過
 - ・ 固定ロープのスリングのセットと掛け替えの練習
 - ・ カラビナバッチマン
3. 懸垂下降
 - (1) 肩絡み
 - (2) カラビナ懸垂（ムンターヒッチ、カラビナ組み合わせ）



カラビナ懸垂-1

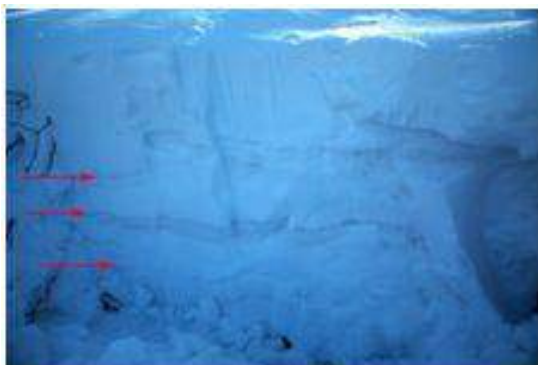


カラビナ懸垂-2

4. 雪崩事故防止講習

(1) 積雪断面の観察

(2) 弱層テスト (ハンドテスト)



積雪断面の観察(赤矢印が弱層)



ハンドテスト (最上部層がずれた)

(3) 雪崩ビーコン

・2台のビーコンを使って発信と受信を交互に行い、動作と送受信の状態を確認した。

・使用上の注意事項の説明

5. ピッケルワーク

(1) 登高・下降時のホール

(2) 耐風姿勢

(3) 滑落停止



耐風姿勢の練習風景

以上の講習終了後、下山開始。講師の笛の合図で耐風姿勢を取ったり、急な斜面では、ロープを出してカラビナ懸垂下降を行ったり、復習しながら下山した。

(一口感想)

・皆さんの協力で充実した講習会を実施することができました。ありがとうございました。

お配りした資料やインターネットで講習の内容を再確認してください。(秋田)

- ・勉強させていただきました。(清水)
- ・今回、一日中天気が良く講習の時間もたっぷりとってもらいましたので、内容が多かったにもかかわらず、全体に良く習得できました。また雪崩事故防止講習では雪崩原因やビーコンの威力が良くわかりました。今後は教えた貰ったロープワークが登山中に何らかの助けになるよう、ソースリング、カラビナ、補助ロープ等は必携装備に加えていきたいと思います。(大門)
- ・今回の訓練で印象に残ったことは次の3点。
 - 1) 積層テスト
最上部の雪層との間に弱層があると最上部の雪層が簡単にずれることを目の当たりにし、雪崩のメカニズムの一端を垣間見たこと。当日の天気だけではなく、当日までの天候・気温・積雪状態についても把握することが大切であることが解った。
 - 2) 簡単にできるカラビナ懸垂
下降器が無くても、カラビナ懸垂下降が安心して使えたこと。ただし、のの字をし、カラビナの下に回し・・・ シンプルな使い方こそずり、現地では中々できなかった。
復習を家で実施すると、スムーズにできるようになった。
 - 3) 予習・復習で出来る様に
今回は「ワカンによる雪上歩行、ロープワーク、雪崩事故防止」について実践で講義を受けた。頭では解っていても、自分で実行すると中々できないことがある。改めて、予習と復習が大事であることと、そのことを頭に置きながら日頃の山行でも意識し実践することが大切であることを感じた。(森原)
- ・短時間で大変有意義な講習内容でした。積雪の断面を観察した後のハンドテストでは、少しの力だけで雪のブロックがずれるのを体験しました。リスクの高い場所にいることを自覚し、安全に雪山を楽しむためには、適切な歩行とピッケルワーク、すぐに役立つロープワークの習得が必要だと解りました。少しずつ技術と経験を積みたいと思います。(東郷)
- ・非常に恵まれた天候の中、荒島岳で雪山基礎講座を受講することができました。道具の扱いに慣れておらず、また手袋をはめでの操作なので、ロープやカラビナ、ワカンなどの取り扱いにとっても苦勞し、時間がかかってしまいました。今回、訓練をしていただいた場所は標高もそれほど高くなく、しかも天候に恵まれたため良かったのですが、より標高の高い場所で、天候が悪かったらと思うとゾッとします。今回教えていただいたことが素早く行えるよう、日頃の練習を心掛けたと思います。(達摩)
- ・久しぶりの雪山でしたが、天気も良くきもちよく登ることができました。講習の内容も有意義で、現場で学ぶことの重要性を再認識いたしました。また、雪山基礎講座で色々な方と登ることができて、世界が広がりました。受講したことを生かして経験を重ねていきたいと思います。(乾)

- ・青空の下の訓練は雪遊びの時間も含め、楽しく実りのあるものになったと思います。今回初めてのワカン歩行でした。スノーシューほど重くなく、歩きやすい。少し調子に乗って、ふかふかの雪の上を選んで歩いていたら、はまりました。木の幹の近くは要注意！をすっかり忘れていました。ロープワークは、どの場面でどの結び方をするのかがまだ良く分かりません。送っていただいた資料を参考に復習をします。雪の層が簡単に動くという事も驚きでした。しんしんと降る雪やあられが危険だという事も心にとめて行動したいと思います。(小西)
- ・天気、雪のコンディションにも恵まれて気持ちの良い1日でした。また、真っ白な両白山地の山々が綺麗でした。夏に少しロープワークの教育を受けて以来ですが雪山では細かい作業がやり辛く苦戦しました(山行後はけっこう手が疲れてました)。復習しないと直ぐに忘れそうです。弱層テスト、雪崩ビーコンでの搜索は良い勉強になりました。次回の講習会も楽しみにしています。(山川)
- ・秋田講師に条件のいい山を選択していただきましたため、楽しみながら受講することが出来ました。今回、確保器を使用しない懸垂下降を教わり、日頃の登山時にいざという場面で活かせると思いました。そのためには、ロープとカラビナは個人装備として必需品だと改めて感じました。一人が10mのロープの所持としても、4人のロープを連結すれば40mになると思うと心強いです。トラブルを対処するには、実用化を目指したいと思います。(川端)



その11

山歩きをはじめましょう



登山教室

山を安全に楽しむための

滋賀県勤労者山岳連盟

友永 芳和



写真上 北岳陣にて
写真左 北アルプス・わき
び平小屋にて

前回の最後に山歩きを始めませんか？と書かせていただきました。

今は、ガイドブックや技術書が本屋に並んでいます。インターネットでもたくさん情報があります。でも一人登山を始めるのは不安です。山岳ショップなどで参加者を募集して山に行く計画もあります。一度参加してみたいかと思う。

もちろん私たち滋賀県勤労者山岳連盟でも「山の会へきやんせ」をキャッチフレーズに6つの会がそれぞれ独自の活動をしています。少し紹介したいと思います。

「山の会へきやんせ」—あなたもぜひ滋賀労山へ

- 滋賀山友会
滋賀県連で最も歴史のある山岳会です。ウォーキング部、ハイキング部、オールラウンド山行部などに分かれ、好みにあった山行を実施しています。また作業所の仲間たちと交流する「ふれあいハイク」も行っています。
- 湖南岳友会
月2回のハイキングや登山を計画し、合宿では県内の山からアルプスまで四季おりおりの山行を楽しんでいます。経験豊かな委員がレベルに応じて安全な登山を指導します。
- 比良雪稜会
会員相互の親睦を通して「山に登る楽しみ」を体験や知識の共有を図り、山の魅力を発展できるような「山行の充実」を心掛けています。他にお茶会例会も行っています。
- ちごゆり山歩会
例会は月2回、県内や近郊の山々を、50〜80代までの会員で、四季おりおりの景色や花を楽しみ、歴史にもふれながらわきあいあいの山行を楽しんでいます。
- シヤクナゲ湖行クラブ
創立以来、会員は歳を重ね、野鳥観察や山菜、きのこ採りも楽しんでいきます。ゆっくり歩きたい初心者大歓迎です。
- 彷徨倶楽部
気盛に参加できる日帰りハイイクを毎月実施。夏には沢歩き、春には雪山などあらゆるジャンルで山を遊びつくしています。初心者には公認上級山岳指導員が基礎から指導してくれます。
- ホームページを開設している会もあります。一度ご覧下さい。興味のある例会があれば体験参加してはいかがでしょうか。

前回と同じ言葉になりますが、登山はそれぞれの体力と力風に応じて一生出来たものです。皆さんも登山を始めませんか？（おわり）

ぐうたら理事長のつぶやき

理事長を引き受けてから3年が経とうとしています。会員数もじり貧で減少を続けています。力不足で会員をどうすれば増やせるのか良い案が浮かびません。どなたかカンフル剤のような名案をお持ちの方はおられないでしょうか。少し弱気になっています。他県の様子を見ても、一般を対象にした登山教室やハイキングセミナーを通じて入会する人が多いようです。また、ホームページを見て問い合わせってくる方も多いようです。地道に登山教室やハイキングセミナーを開く事が大切だと思っています。講師やスタッフの派遣をしていただければと思います。皆さまのご協力をお願いします。

私の山登りも「音羽山」を登るのが必死の状態です。それでも音羽山の枝尾根を登りつくりたいと頑張っています。標高は低くても道のない所を登るのはなかなか骨が折れますが、ただ上に向かって登るだけなので気は楽です。傾斜の変わり目や尾根の合流点などで地図を開き現在地の確認などしています。思わぬ所に岩があったり、短いナイフリッジがあったりと思っていたより苦労する場面もあります。

それともう一つ 2004 年 10 月から続けている三角点探訪もあと 16 を残すだけとなりました。本当ならとっくの昔に終わっていた筈なのに、体重の増加による膝痛や事故を起こしたりしてまだ終えていません。なんとかこれも終えたいと思っています。今年から計画的に少しずつ頑張ってお訪ねたいと思います。参考までに残りの三角点です。山の名前ではなく点標名です。大岩谷、大ケ屋、大岳1、谷山、左千方、戸谷、三ツ又、瀬戸山(一)、藤川、石留山、千草越、八風峠、釈迦ヶ岳、御在所山、上谷1、滝ヶ谷。

2月は堂満岳にラッセルに行きたいと思います、これも毎年の恒例山行にしたいと思えます。今年は雪が多そうなので楽しみです。

2月 24 日(土)8 時比良駅集合にします。

比良駅～登山口～ノタノホリ～13 時 30 分引き返す～ノタノホリ～登山口～比良駅コースです。

雪の状態にもよりますが、山頂までは無理ではないかと思っています。

ワカンかスノーシューが必要です。

参加していただける方は2月 21 日までに友永まで連絡してください。

電話番号 077-524-5618 メール yt19481013@yahoo.co.jp です。

行事予定

月	日	県連・全国行事	月	日	各会の行事	会名
2	2-4	雪山基礎講座-2(3) (湖北・三重嶽～武奈ヶ嶽)	2	3	能登川・伊庭内湖、探鳥ハイク	山友
				4	大阪・犬鳴山	山友
	4	2月例会 場所未定		岳友		
	4	蓬莱山～長池		雪稜		
	4	男山・石清水八幡宮参拝&新年会		ちご		
	4	湖北・虎子山		山友		
	9-18	ニュージーランド北島の山		彷徨		
	11	打見山～荒川峠		雪稜		
	15	ミーティング		彷徨		
	15	運営委員会		岳友		
3	17-18	全国連盟第33回総会	18	伊吹山	岳友	
			18	第39回定期総会	雪稜	
				18	おまかせ山行(未定)	ちご
	24-25	黒姫山スキー(スキーネット)	18	湖北・下谷山	山友	
	24-25	雪山基礎講座-2(4) (奥美濃・大日ヶ岳)	24	ミーティング	岳友	
			25	ふれあいの森	雪稜	
			28	ミーティング(年間山行)	ちご	
	3	2-4	雪山基礎講座-2(5) (湖北・土蔵岳～猫ヶ洞)	4	蛇谷ヶ峰	岳友
				4	おまかせ山行(未定)	ちご
		10	シャルマン火打(スキーネット)	4	荒神山・佐和山	雪稜
11		県連総会、第1回理事会				
			15	ミーティング	彷徨	
23-25		雪山基礎講座-2(6) (中ア・金懸小屋～木曾駒岳)	18	飯道山	雪稜	
24-25		妙高ゲレンデスキー(スキーネット)	18	定期総会&ミーティング	岳友	
4	6-8	雪山基礎講座-2(7) (南ア・北沢峠～仙丈ヶ岳)	18or25	おまかせ山行(未定)	ちご	
			21	3月例会(場所未定)	岳友	
			25	湖北・上谷山	山友	
			25	屯鶴峰～大和葛城山	雪稜	
	13-15	野沢温泉(スキーネット)	1	須磨アルプス	岳友	
			8	定期総会	山友	
			15	局ヶ岳	岳友	
		15	仙ヶ岳～宮指路岳	雪稜		
		19	ミーティング	彷徨		
	27-1	八甲田山(スキーネット)	28	ミーティング	岳友	

会名略号 山友:滋賀山友会、岳友:湖南岳友会、雪稜:比良雪稜会、ちご:ちごゆり山歩会
 シャク:シャクナゲ溯行クラブ、彷徨:彷徨倶楽部
 スキーネット:山スキーネット滋賀、CSS:クライミング研究会滋賀

編集後記

昨年度に続き、又1年間機関紙部を担当させて頂きました。毎月締め切り前後に送られてくる原稿を、東郷理事が校正したあと奥野理事がいろんな情報をまとめて整理し編集してPDF版に仕上げます。そのPDF版を事務局長と理事長に校閲していただいた後に、印刷用にプリントアウトした最終原稿を毎月20日前後に持参し、理事長・高玉・東郷の三人で印刷機と格闘します。製本したものを確認し封入作業を終えて、私がクロネコヤマトに持っていくという機関紙作成役割分担の流れでした。

山で継がった仲間の友情を感じながらの1年、お世話になりました。

機関紙部担当：高玉啓子

今日は、編集委員の高玉理事が「編集後記」として県連ニュースが皆さんのお手元に届くまでの流れを簡単に説明されました。皆さんから頂いた貴重な原稿をまとめて、県連ニュースを会員の皆さんにお届けするのは、編集委員だけではありません。裏表紙に記してある3人の編集委員で作成されているように思えますが、表紙の写真を提供して下さる方、エッセイを寄稿して下さる方、各講習会、研修会に参加した後の報告書をまとめて下さる方、山猫まんまを投稿して下さる方、毎月つぶやいて下さる方、予定表を更新して下さる方、等々があって県連ニュースは成り立っています。また、印刷作業時には大事な助っ人がおられます。このようにたくさんの方々が携わって出来あがる「県連ニュース」をじっくり読んで頂き、可愛がっていただけたらと思います。

機関紙部担当：奥野 豊



原稿の投稿先（3月号は2018年2月15日〆切）
メールアドレス okunoyutaka@yahoo.co.jp まで
原稿はB5サイズ、フォント10~10.5で、使用する写真は
200KB以内として下さい。皆様のご協力をお願い致します。

「県連ニュース」№487

発行日 2018年1月22日

滋賀県勤労者山岳連盟

〒520-0836
大津市杉浦町9-30

Tel 080-4971-6231
Eメール shigarosan@gmail.com

<http://shigarousan.jimdo.com/>

ゆうちょ銀行（店名418）
普通0239956

発行責任者 友永芳和

編集委員 奥野 豊 高玉 敬子 東郷 京子